

# 政策シート

(政策名) 快適な道路・川づくり

(予算費目名) 道路企画費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

## ◆基本政策 安全な生活基盤づくり

### ◇政策の概要

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。

- ①道路ネットワークの整備・強化
- ②道路・河川施設等の適切な維持管理や長寿命化の推進
- ③身近な生活道路の安全性向上

### ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	5,486,877	5,650,476
決算	6,710,823	
人件費(A)	95,100	97,200
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	6,805,923	5,747,676

### ◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
現道改良の整備率	%	61.4	目標	60.3	60.6
			実績	60.4	
橋梁長寿命化修繕計画に基づく整備率	%	100	目標	30	45
			実績	24	
小規模要望事業の実施率	%	100	目標	100	100
			実績	82	

### ◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。

- ①道路ネットワークの整備・強化
- ②道路・河川施設等の適切な維持管理や長寿命化の推進
- ③身近な生活道路の安全性向上

### ◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 進んでいる

- ①コンパクトシティ、道路ネットワークの整備・強化に向け、道路改良事業の推進を図った。
- ②安全・安心な生活環境を維持するため、道路・河川施設等の適切な維持管理や長寿命化の推進を図った。
- ③身近な生活道路や河川施設の安全性向上として、市民からの要望について、概ね実施できた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	道路関係調査事業			○		86,600	70,000	2.0		1.0		
2	市道整備事業	○	○			836,302	820,502	2.0	0.5			
3	国県道整備事業	○	○			1,312,723	1,296,923	2.0	0.5			
4	道路整備推進事業					43,640	36,640	1.0				
5	スマートインターチェンジ関連整備事業	○	○	○		697,500	680,000	2.5				
6	三遠南信自動車道関連整備事業	○	○	○		485,500	468,000	2.5				
7	過疎対策道路整備事業			○								
8	国直轄道路事業(負担金)					2,238,500	2,235,000	0.5				
9	道路企画運営経費(一般諸経費のみ)					46,911	43,411	0.5				
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						5,747,676	5,650,476	13.0	1.0	1.0		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 道路関係調査事業

## ◇事業目的・事業対象

安全で安心な道路空間の構築や維持管理コストの縮減・平準化を実現するために、現状の把握について調査・検討を行い、具体的な対策案を策定する。

## ◇事業の概要

### 【道路交通調査事業】

道路及び道路交通の現状を把握して、その実態と問題点を把握するために実施し、調査範囲は浜松環状線内渋滞状況調査、新東名開通の効果検証を行なう。

### 【次期みちづくり計画の策定】

次期みちづくり計画では、前回の成果指標の達成状況や道路利用者のニーズ等の整理を行い、平成29年度からの10カ年の道路整備の基本理念・基本方針・目標等を策定する。

### 【交通事故データ分析事業】

交通事故の科学的分析に基づく対策に必要な情報基盤整備を行うことで、最新データに基づく交通事故対策の立案、事前・事後評価を行い、効果的かつ効率的な交通安全施設等整備事業の実施に反映させる。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20	-	一般会計	自治事務(法令義務)		-		○

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	76,400	70,000
	決算	78,258	
	国・県支出	4,350	1,000
	市債		
	その他		
	一般財源	73,908	69,000
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		27,100	16,600
人工	正規	3.5	2.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)	1.0	1.0
	非常勤		

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
舗装路面性状調査延長(km)				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	112	-			-
実績値	112				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
浜松市交通事故データ整理・分析業務進捗率(%) (指標は年度単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	100	100			100
実績値	100				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【道路交通調査事業】

道路及び道路交通の現状を把握して、その実態と問題点を把握するために実施し、調査範囲は浜松環状線内渋滞状況調査、新東名開通の効果検証を行なう。

【次期道づくり計画の策定】

次期みちづくり計画では、前回の成果指標の達成状況や道路利用者のニーズ等の整理を行い、平成29年度からの10カ年の道路整備の基本理念・基本方針・目標等を策定する。

【舗装長寿命化対策事業】

国県道・市道の路面性状調査を行い、予防保全型の舗装修繕計画の策定する。

【交通事故データ分析事業】

交通事故の科学的分析に基づく対策に必要な情報基盤整備を行うことで、最新データに基づく交通事故対策の立案、事前・事後評価を行い、効果的かつ効率的な交通安全施設等整備事業の実施に反映させる。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・今年度、実施した路面正常調査を用いて、緊急輸送路における舗装長寿命化計画の策定が完了した。
- ・交通事故データベース作成に対応可能な情報基盤の整備が完了し、データベース更新の迅速化が図られた。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

- ・当初の計画通り、進捗を図り成果が発揮された。引き続き、継続して取り組んでいく。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 縮小 人工 縮小

- ・舗装長寿命化対策事業は、道路保全課へ移行することから事業費・人工ともに減少。
- ・その他は、継続して取り組む。

・事業の分類

大分類 事業推進 細分類 調査・研究

# 事業シート (事業名) 市道整備事業

## ◇事業目的・事業対象

東名高速道路など恵まれた交通環境を活かしたバランスの良い道路整備を促進するため、幹線道路を軸に地域の特性を配慮した補助幹線として、利用度が高く投資効果のある路線から重点的に整備を進め、安全で快適な生活環境を目指す。

## ◇事業の概要

市道整備事業

- ・国交付金事業
  - 社会資本整備総合交付金事業
  - 道路改良(実施中) 2路線
- ・国交付金事業
  - 地方創生道整備推進交付金事業
  - 道路改良(実施中) 4路線
- ・単独事業

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第17条	○		○

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	728,684	820,502
	決算	1,018,339	
	国・県支出	198,571	140,000
	市債	310,500	390,600
	その他		
	一般財源	509,268	289,902
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		19,300	15,800
人工	正規	2.5	2.0
	再任用(h31)	0.5	0.5
	再任用(h26)		
	非常勤		

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
道路改良率					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	59.3	59.6			60.4
実績値	59.5				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)  
03 04 02 01 02314000

(担当課)  
道路企画課

(責任者)  
菅谷 昌彦

(作成日)  
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

市道整備事業

- ・国交付金事業 [決算15,500千円(うち前年度繰越0千円)]  
社会資本整備総合交付金事業  
道路改良(実施中) 1路線
- ・国交付金事業 [決算380,092千円(うち前年度繰越176,692千円)]  
道整備交付金事業  
道路改良(実施中) 4路線
- ・単独事業 [決算622,747千円(うち前年度繰越208,130千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度

・平成27年度の道路改良目標値を59.3%としていたが、市道滝沢1号線等の整備を推進することにより、実績値を59.5%に伸ばすことができた。事業用地確保が出来ず、道路改良工事に着手できないという課題もあるが、引き続き交渉を進める。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・生活道路である市道改良の推進を図った。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・事業用地を確保し、生活道路である市道の改良に今後も継続して取り組む。

・事業の分類

大分類

細分類

# 事業シート (事業名) 国県道整備事業

## ◇事業目的・事業対象

政令指定都市移行後、県より移譲された国県道について、円滑な自動車交通ネットワークを構築するために道路整備を推進する。

## ◇事業の概要

国県道整備事業

- ・国交付金事業
  - 社会資本整備総合交付金事業
  - 国道:道路改良(実施中) 3路線 6工区
  - 県道:道路改良(実施中) 4路線 4工区
- ・市単独事業
- ・防衛施設周辺整備事業

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第17条	○		○

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	996,478	1,296,923
	決算	1,945,826	
	国・県支出	581,296	506,206
	市債	531,900	427,600
	その他		
	一般財源	832,630	363,117
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		12,300	15,800
人工	正規	1.5	2.0
	再任用(h31)	0.5	0.5
	再任用(h26)		
	非常勤		

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
道路改良率					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	68.6	68.8			69.6
実績値	68.7				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)  
03 04 02 01 02314000

(担当課)  
道路企画課

(責任者)  
菅谷 昌彦

(作成日)  
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

国道整備事業	・国交付金事業 [決算額986,684千円(うち前年度繰越313,524千円)] 社会資本整備総合交付金事業 道路改良(実施中) 3路線 5工区
市単独事業	・市単独事業
県道整備事業	・国交付金事業 [決算額903,969千円(うち前年度繰越665,564千円)] 社会資本整備総合交付金事業 道路改良(実施中) 3路線 3工区
	・市単独事業[決算額55,173千円(うち前年度繰越0千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度
<input type="text" value="計画通り"/>
・平成27年度の道路改良目標値を68.6%としていたが、国道362号(宮口バイパス)等の整備を推進することにより、実績値を68.7%に伸ばすことができた。事業用地確保が出来ず、道路改良工事に着手できないという課題もあるが、引き続き交渉を進める。

・事業の改善と見直し

実施結果
大項目 <input type="text" value="現状"/> 小項目 <input type="text"/> / <input type="text"/> 事業費 <input type="text" value="現状"/> 人工 <input type="text" value="現状"/>
・幹線道路である国県道改良の推進を図った。
今後の方向性
大項目 <input type="text" value="現状"/> 小項目 <input type="text"/> / <input type="text"/> 事業費 <input type="text" value="現状"/> 人工 <input type="text" value="現状"/>
・事業用地を確保し、幹線道路である国県道の改良に今後も継続して取り組む。

・事業の分類

大分類 <input type="text" value="ハード整備"/>	細分類 <input type="text" value="工事・整備(土木)"/>
--	--



平成28年度

(管理番号)  
03 04 02 01 02314000 04

(担当課)  
道路企画課

(責任者)  
菅谷 昌彦

(作成日)  
平成 28 年 7 月 1 日

# 事業シート (事業名) 道路整備推進事業

## ◇事業目的・事業対象

道路整備事業に係る国庫補助事業の運営に必要な経費の管理。

## ◇事業の概要

道路整備事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H22	-	一般会計	自治事務(その他)		-		-

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	35,313	36,640
	決算	18,811	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	18,811	36,640
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		7,000	7,000
人工	正規	1.0	1.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

道路維持事業並びに道路整備事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目  現状 小項目  /  事業費  現状 人工  現状

今後の方向性

大項目  現状 小項目  /  事業費  現状 人工  現状

・事業の分類

大分類  維持管理運営

細分類  施設管理運営(その他)

# 事業シート (事業名) スマートインターチェンジ関連整備事業

## ◇事業目的・事業対象

東名高速道路の三方原パーキングエリア及び館山寺バス停にスマートインターチェンジを設置することにより、新たな広域交通の拠点を形成し、高速道路と一般道路のネットワークを強化することで、利便性の向上、産業・経済の活性化、観光交流を促進する。

## ◇事業の概要

### 【重点戦略項目No.83】

三方原及び館山寺スマートインターチェンジのアクセス道路となる有玉南初生線外6線の交差点改良・道路拡幅整備等を行います。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	H31	一般会計	自治事務(法令義務)		○	○	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	609,108	680,000
	決算	991,880	
	国・県支出	434,694	374,000
	市債	482,900	275,200
	その他		
	一般財源	74,286	30,800
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		8,400	17,500
人工	正規	1.2	2.5
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
事業費ベースによる進捗率(%)				Ⅲ-1(1)イ	83
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	52	69	87	100	100
実績値	25				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)  
03 04 02 01 02314000

(担当課)  
道路企画課

(責任者)  
菅谷 昌彦

(作成日)  
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目No.83】

三方原及び館山寺スマートインターチェンジのアクセス道路となる有玉南初生線外6線の交差点改良・道路拡幅整備等を行います。

[決算額991,880千円(うち前年度繰越426,500千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度

(仮称)館山寺スマートICについては、土質調査の結果、軟弱地盤であることが判明し、本体構造形式の再検討に時間を要し、事業用地の取得の着手が遅れた。引き続き、早期の供用開始を目指していく。

また、三方原スマートICのアクセス道路となる(都)有玉南初生線(供用目標:平成31年度)の進捗が遅れているが早期の供用開始を目指していく。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・NEXCO中日本と連携し、今後も継続して取り組んでいく。

・事業の分類

大分類

細分類

## 補助シート (事業名) スマートインターチェンジ関連整備事業

### ◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
83	アクセス道路整備 ・用地、物件補償 ・道路整備工事  委託工事 ・スマートIC本体	アクセス道路整備 ・用地、物件補償 ・道路整備工事  委託工事 ・スマートIC本体  ●本体供用開始	アクセス道路整備 ・用地、物件補償	アクセス道路整備 ・用地、物件補償 ・道路整備工事

# 事業シート (事業名) 三遠南信自動車道関連整備事業

## ◇事業目的・事業対象

三遠南信地域への高速サービスの提供、災害に強い道路網の構築により、地域医療サービスの向上等、安全で快適な生活環境を確保するとともに、三遠南信地域間の交流促進や連携強化による地域の活性化を目指す。

## ◇事業の概要

### 【重点戦略項目No.83】

・平成26年3月に現道改良区間と位置付けられた国道152号(水窪北IC～水窪IC)の整備を進め、青崩峠道路等の高規格幹線道路を繋ぐ区間として直轄事業と同調した供用を目指す。  
 ・平成30年度の佐久間道路((仮)佐久間IC～(仮)東栄IC)の供用目標に合わせ、(仮)佐久間IC及び(仮)浦川ICのアクセスルートの改良及び防災工事を実施する。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	H34	一般会計	自治事務(法令義務)		○	○	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	126,803	468,000
	決算	104,334	
	国・県支出	6,600	201,850
	市債	4,800	229,300
	その他		
	一般財源 一般会計繰入金	92,934	36,850
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		4,900	17,500
人工	正規	0.7	2.5
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
現道改良区間整備率(%)				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	10	20			100
実績値	10				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
佐久間道路ICアクセス整備率(%)				-	83
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	20	40	100		100
実績値	20				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)  
03 04 02 01 02314000

(担当課)  
道路企画課

(責任者)  
菅谷 昌彦

(作成日)  
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目No.83】

・平成26年3月に現道改良区間と位置付けられた国道152号(水窪北IC～水窪IC)の整備を進め、青崩峠道路等の高規格幹線道路を繋ぐ区間として直轄事業と同調した供用を目指す。  
・平成30年度の佐久間道路((仮)佐久間IC～(仮)東栄IC)の供用目標に合わせ、(仮)佐久間IC及び(仮)浦川ICのアクセスルートの改良及び防災工事を実施する。  
[決算額104,334千円(うち前年度繰越426,500千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度

【重点戦略項目No.83】

・国道152号現道改良区間(水窪北IC～水窪IC)は、概略設計に引き続き、詳細設計を進めている。  
・(仮)佐久間IC及び(仮)浦川ICのアクセスルートの改良は、三遠南信自動車道の進捗に合わせ整備を進める。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・三遠南信自動車道の開通に向け、国土交通省と連携し事業進捗調整を図った。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・国土交通省と連携し、今後も継続して取り組んでいく。

・事業の分類

大分類

細分類

# 補助シート (事業名) 三遠南信自動車道関連整備事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
	<現道改良区間整備> 道路・構造物設計 用地・物件調査	道路・構造物設計 用地・物件調査 用地買収 物件補償	改良工事着手 用地買収 物件補償	工事施工 用地買収 物件補償
83	<ICアクセス整備> 工事施工 設計 用地買収 物件補償	工事施工 設計 用地買収 物件補償	工事施工 設計 用地買収 物件補償	工事施工 供用



# 事業シート (事業名) 過疎対策道路整備事業

## ◇事業目的・事業対象

浜松市過疎地域自立促進計画に基づき、生活支援の一助となるよう過疎地域を対象とした道路整備事業の推進を図る。

## ◇事業の概要

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	-	一般会計	自治事務(法令義務)	過疎地域自立促進特別措置法	-	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	92,120	
	決算	79,949	
	国・県支出		
	市債	77,300	
	その他		
	一般財源	2,649	
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		5,600	
人工	正規	0.8	
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
完了路線数					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	8				
実績値	8				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

市道単独費  
道路改良 1路線  
防災工事 1路線  
橋梁修繕 3路線  
舗装修繕 3路線

・事業の成果と課題

指標の達成度

・地域要望の高い路線を抛出し、国交付金事業等の採択要件を満たさない箇所に対し、緊急性や必要性等を判断の上、事業を実施するものであり、過疎地域において過疎地域自立促進特別措置法に位置付けられた「浜松市の過疎地域自主促進計画」に基づき事業を推進している。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・過疎地域の生活支援のため現状確保が必要である。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・引き続き、浜松市過疎地域自立促進計画に基づき、生活支援の一助となるよう過疎地域を対象とした道路整備事業の推進に努める。

・事業の分類

大分類

細分類

# 事業シート (事業名) 国直轄道路事業(負担金)

## ◇事業目的・事業対象

国土交通省直轄事業として行う国道整備事業への負担金

## ◇事業の概要

道路法第50条及び交通安全施設等整備事業の推進に係る法律第6条の規定により、政令都市移行に伴い、国直轄事業の事業費負担割合に応じた事業費を市が負担する。

- ①国道474号
  - 三遠・佐久間道路地域連携推進事業
  - 青崩峠道路地域連携推進事業
- ②国道1号
  - 維持管理(防護柵・道路標識・区画線・情報提供機器)

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第50条、交通安全施設等整備事業の推進に係る法律第6条	-		-

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	2,761,000	2,235,000
	決算	2,422,662	
	国・県支出		
	市債	2,206,700	2,011,500
	その他		
	一般財源	215,962	223,500
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		3,500	3,500
人工	正規	0.5	0.5
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)  
03 04 02 01 02314000

(担当課)  
道路企画課

(責任者)  
菅谷 昌彦

(作成日)  
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

道路法第50条の規定により、政令都市移行に伴い、国直轄事業の事業費負担割合に応じた事業費を市が負担する。

①国道474号

○三遠・佐久間道路地域連携推進事業

○青崩峠道路地域連携推進事業

②国道1号

○維持管理(防護柵・道路標識・区画線・情報提供機器)

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・事業の分類

大分類

細分類

# 事業シート (事業名) 道路企画運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	60,971	43,411
	決算	50,764	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	50,764	43,411
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		7,000	3,500
人工	正規	1.0	0.5
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)  
03 04 02 01 02314000

(担当課)  
道路企画課

(責任者)  
菅谷 昌彦

(作成日)  
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・事業の分類

大分類  管理・監視

細分類  運営経費(諸経費のみ)

# 政策シート

(政策名) 快適な道路・川づくり

(予算費目名) 街路事業費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
  - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

## ◆基本政策 安全な生活基盤づくり

### ◇政策の概要

・都市計画道路の整備を進めることにより、市街地における道路ネットワークを構築し、市民が安全で利便性が高く快適に暮らしやすいまちづくりを実現する。

### ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	1,720,344	2,280,283
決算	2,064,657	
人件費(A)	31,500	17,500
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	2,096,157	2,297,783

### ◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
都市計画道路の整備率	%	69.8	目標	68.2	68.2
			実績	68.2	
天竜川駅周辺整備事業 事業費ベースの進捗率	%	100	目標	17.8	36.7
			実績	17.8	
			目標		
			実績		

### ◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

・都市計画道路の整備を進めることにより、市街地における道路ネットワークを構築し、市民が安全で利便性が高く快適に暮らしやすいまちづくりを実現する。

### ◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>  計画通り

都市計画道路の整備を進める事により、市街地における道路ネットワークの構築を図る事ができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	都市計画道路整備事業	○	○	○		1,305,750	1,298,750	1.0				
2	街路整備推進事業					12,720	9,220	0.5				
3	天竜川駅周辺整備事業	○	○	○		817,060	813,560	0.5				
4	鉄道施設安全対策助成事業					151,667	151,667					
5	街路事業運営経費(一般諸経費のみ)					10,586	7,086	0.5				
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						2,297,783	2,280,283	2.5				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800



# 事業シート (事業名) 都市計画道路整備事業

## ◇事業目的・事業対象

都市圏主要幹線道路としての都市計画道路の整備を進め、都市内交通を効率的に処理し、都市部と周辺地域の道路ネットワークとしての連続性を確保することにより、市民生活の快適性を向上させる。

## ◇事業の概要

【重点戦略項目No.82】

【国交付金事業】

・国土交通省所管事業の所管の社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金を活用し、事業のスケジュールを明確にした上で、街路事業の推進を図ります。  
 ・(都)有玉南中田島線外5路線8工区(計9工区)において、選択と集中を図った上で、用地買収・物件補償及び工事を実施し、事業の進捗を図ります。

【市単独事業】

・補助金(交付金)事業を補完するため、関連した路線(箇所)の整備を行います。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	1,130,681	1,298,750
	決算	1,518,133	
	国・県支出	772,683	596,255
	市債	598,300	531,900
	その他		1,700
	一般財源	147,150	168,895
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		14,000	7,000
人工	正規	2.0	1.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
整備率(%)				-	82
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	68.2	68.2	69.5		69.7
実績値	68.2				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
市街地における交通の円滑化(平均旅行速度の向上)(km/h)				Ⅲ-4(1)イ	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	26	26		26	
実績値	26				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目No.82】

【国交付金事業】

・国土交通省所管事業の所管の社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金を活用し、事業のスケジュールを明確にした上で、街路事業の推進を図ります。  
・(都)有玉南中田島線外5路線8工区(計9工区)において、選択と集中を図った上で、用地買収・物件補償及び工事を実施し、事業の進捗を図ります。  
[決算1,402,780千円(うち前年度繰越573,120千円)]

【市単独事業】

・補助金(交付金)事業を補完するため、関連した路線(箇所)の整備を行います。  
[決算115,352千円(うち前年度繰越9,208千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度

都市計画道路の整備を進める事により、市街地における道路ネットワークの構築を図る事ができた。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

当初の計画通り、事業の進捗を図り成果が発揮された。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後も継続して事業に取り組んで行く。

・事業の分類

大分類

細分類

平成28年度

(管理番号)  
03 04 02 02 002314000 01(担当課)  
道路企画課(責任者)  
菅谷 昌彦(作成日)  
平成 28 年 7 月 1 日

# 補助シート

(事業名) 都市計画道路整備事業

## ◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
82	現在、事業認可を受けている事業を継続して整備していきます。 ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事	現在、事業認可を受けている事業を継続して整備していきます。 ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事	現在、事業認可を受けている事業を継続して整備していきます。 ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事	現在、事業認可を受けている事業を継続して整備していきます。 ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事

# 事業シート (事業名) 街路整備推進事業

## ◇事業目的・事業対象

街路整備事業に必要な登記事務等を実施し円滑な事業進捗を図る。

## ◇事業の概要

街路事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

消耗品 : 収入印紙代

手数料 : 不動産鑑定手数料

登記事務 : 所有権移転・土地分筆登記

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H22	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	14,200	9,220
	決算	8,435	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	8,435	9,220
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		3,500	3,500
人工	正規	0.5	0.5
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

街路事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

消耗品 : 収入印紙代

手数料 : 不動産鑑定手数料

登記事務 : 所有権移転・土地分筆登記

・事業の成果と課題

指標の達成度

街路事業の執行に伴い、必要な経費の適正な予算執行を行う事ができた。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目  現状  小項目  /  事業費  現状  人工  現状

当初の計画通り、必要な経費の適正な予算執行を図り成果が発揮された。

今後の方向性

大項目  現状  小項目  /  事業費  現状  人工  現状

今後も継続して事業に取り組んで行く。

・事業の分類

大分類  事業推進

細分類  都市整備

# 事業シート (事業名) 天竜川駅周辺整備事業

## ◇事業目的・事業対象

JR東海道本線天竜川駅に自由通路をはじめとする駅周辺整備やアクセス道路を整備し、公共交通利用の交通結節点機能の向上を図ると共に、周辺地域の利便性を高め、駅を中心とした南北交流の架け橋となるよう、暮らしやすい地区環境を図る。

## ◇事業の概要

### 【重点戦略項目No.85】

JR東海道本線天竜川駅の橋上化と南北自由通路の新設及び駅前広場の整備等を進めていく。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	H30	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	567,998	813,560
	決算	532,519	
	国・県支出	248,182	435,537
	市債	241,400	320,700
	その他		
	一般財源 一般会計繰入金	42,937	57,323
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		10,500	3,500
人工	正規	1.5	0.5
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
事業費ベースによる進捗率(%)				-	85
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	17.8	42	100		100
実績値	17.8				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				Ⅲ-4(1)イ	重点戦略項目No
主要な駅、バス停の利用者(千人)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	約27,200	約27,200		約27,200	
実績値	H29.3頃確定				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)  
03 04 02 02 002314000

(担当課)  
道路企画課

(責任者)  
菅谷 昌彦

(作成日)  
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目No.85】

JR東海道本線天竜川駅の橋上化と南北自由通路の新設及び駅前広場の整備等を進めていく。

[決算532,519千円(うち前年度繰越81,440千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度

周辺地域の利便性向上のため、JR東海道本線天竜川駅の橋上化と南北自由通路の整備を進める事ができた。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目

小項目

/

事業費

人工

当初の計画通り、事業の進捗を図り成果が発揮された。

今後の方向性

大項目

小項目

/

事業費

人工

今後も継続して事業に取り組んで行く。

・事業の分類

大分類

細分類

平成28年度

(管理番号)  
03 04 02 02 002314000 03

(担当課)  
道路企画課

(責任者)  
菅谷 昌彦

(作成日)  
平成 28 年 7 月 1 日

# 補助シート

(事業名) 天竜川駅周辺整備事業

## ◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
85	仮駅舎建築	自由通路築造工事 橋上駅舎建築工事	自由通路築造工事 橋上駅舎建築工事 仮駅舎解体 ●供用開始	南北駅前広場築造工事 ●供用開始



# 事業シート (事業名) 鉄道施設安全対策助成事業

## ◇事業目的・事業対象

大規模地震による鉄道施設の被害の拡大や未然防止を目的とする鉄道施設安全対策事業要する経費の一部を、国と協調して補助することで、鉄道利用者の安全確保や発災時の緊急応急活動の機能確保を図る。

## ◇事業の概要

橋脚補強8基、駅舎柱補強4基

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H28	H28	一般会計	自治事務(その他)		—		

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算		151,667
	決算		
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源		151,667
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)			
人工	正規		
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)  
03 04 02 02 002314000

(担当課)  
道路企画課

(責任者)  
菅谷 昌彦

(作成日)  
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・事業の分類

大分類

細分類

# 事業シート (事業名) 街路事業運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	7,465	7,086
	決算	5,570	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	5,570	7,086
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		3,500	3,500
人工	正規	0.5	0.5
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)  
03 04 02 02 002314000

(担当課)  
道路企画課

(責任者)  
菅谷 昌彦

(作成日)  
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

街路事業の執行に伴う適正な予算執行を行う事ができた。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

当初の計画通り、適正な予算執行を図り成果が発揮された。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後も継続して事業に取り組んで行く。

・事業の分類

大分類

細分類

# 政策シート

(政策名) 快適な道路・河川づくり

(予算費目名) 河川費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
  - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

## ◆基本政策 安全な生活基盤づくり

### ◇政策の概要

・市民が安全・安心に生活できるように河川等が適正かつ持続的に保全され、豪雨等の災害が少ない都市を実現する。

- ①河川・排水路の改修、浸水被害地域の総合的な治水計画策定
- ②浸水被害地域での市民の自主的浸水対策への助成

### ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	1,016,163	1,095,987
決算	937,491	
人件費(A)	31,880	28,020
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	969,371	1,124,007

### ◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
河川の整備率	%	83.0	目標	38.0	43
			実績	36.7	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

### ◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

・市民が安全・安心に生活できるように河川等が適正かつ持続的に保全され、豪雨等の災害が少ない都市を実現する。

- ①河川・排水路の改修、浸水被害地域の総合的な治水計画策定
- ②浸水被害地域での市民の自主的浸水対策への助成

### ◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 遅れている

河川、排水路の改修、護岸整備により、浸水被害の解消、軽減を図った。また、整備に必要な用地取得、測量調査を実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	河川改良事業	○	○			1,089,700	1,072,900	2.4				
2	(新規)浸水対策設備調査事業	○	○			16,813	14,013	0.4				
3	河川運営経費(一般諸経費のみ)	○	○			17,494	9,074	1.1	0.2			
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,124,007	1,095,987	3.9	0.2			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 河川改良事業

## ◇事業目的・事業対象

①河川・排水路の改修、浸水被害地域の総合的な治水計画策定により、効果的な治水対策を実施し安全性向上を図る。

## ◇事業の概要

- ◆国交付金事業(防災・安全)
  - ・(二)九領川 改修
- ◆単独事業
  - ・準用河川、普通河川等 改修
  - ・浸水被害地域の総合的な治水計画策定

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
		一般会計	自治事務	河川法	○	—	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	1,002,000	1,072,900
	決算	928,443	
	国・県支出	27,280	68,000
	市債	10,500	637,800
	その他	9,000	350,000
	一般財源	881,663	17,100
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		21,700	16,800
人工	正規	3.1	2.4
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
河川の整備率					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	38.0	43		58	83.0
実績値	36.7				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	77.0	78		80	
実績値	77.5				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ◆国交付金事業(防災・安全) [決算 48,420千円(うち前年度繰越 18,420千円)]
- ・(二)九領川 改修
- ◆単独事業 [決算 880,023千円(うち前年度繰越 178,263千円)]
- ・準用河川、普通河川等 改修
- ・浸水被害地域の総合的な治水計画策定

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・河川改修の実施(測量設計、用地取得、工事)
- ・浸水被害地域の総合的な治水計画策定(高塚川総合的治水対策協議会の開催、雨水管理計画策定に向けた基礎調査)

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・河川改修の実施(測量設計、用地取得、工事)
- ・浸水被害地域の総合的な治水計画策定(高塚川総合的治水対策協議会の開催、雨水管理計画策定に向けた基礎調査)

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・浸水被害地域の総合的な治水計画策定(高塚川総合的治水対策協議会での計画策定、雨水管理計画策定)により、効果的・効率的な河川改修を実施していく。

・事業の分類

大分類  細分類



# 事業シート (事業名) (新規) 浸水対策設備調査事業

## ◇事業目的・事業対象

②浸水被害地域での市民の自主的浸水対策への助成により、浸水被害の軽減を図る。

## ◇事業の概要

・浸水被害地域での市民の自主的浸水対策への助成を行う。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					○	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	5,000	14,013
	決算	2,754	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	2,754	14,013
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		1,400	2,800
人工	正規	0.2	0.4
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

## ◇事業の指標 (H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
浸水対策設備助成制度の策定				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	1	1			
実績値	1				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合(%)				Ⅲ-1(1)イ	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	77.0	78		80	
実績値	77.5				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)  
03 04 02 03 02331000

(担当課)  
河川課

(責任者)  
松島 康浩

(作成日)  
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・浸水被害地域での市民の自主的浸水対策への助成を行うための手法の調査・検討。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・浸水被害地域での市民の自主的浸水対策への助成を行うための手法の調査・検討の結果、「土のうステーション事業」を制度実施を決定した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・浸水被害地域での市民の自主的浸水対策への助成を行うための手法の調査・検討の結果、「土のうステーション事業」を制度実施を決定した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・「土のうステーション事業」のモデル運用を開始する。  
・実施上の課題を検証して改善を図る。  
・対象地区の選定基準を作成して、他地区への展開を計画・実施する。

・事業の分類

大分類

細分類

# 事業シート (事業名) 河川運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	9,163	9,074
	決算	6,294	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	6,294	9,074
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		8,780	8,420
人工	正規	1.1	1.1
	再任用(h31)	0.3	0.2
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合(%)				Ⅲ-1(1)イ	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	77.0	78		80	
実績値	77.5				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)  
03 04 02 04 02331000

(担当課)  
河川課

(責任者)  
松島 康浩

(作成日)  
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・事業の分類

大分類

細分類

# 政策シート

(政策名) 快適な道路・河川づくり

(予算費目名) 港湾費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

## ◆基本政策 安全な生活基盤づくり

### ◇政策の概要

・市民が安全・安心に生活できるように河川等が適正かつ持続的に保全され、豪雨等の災害が少ない都市を実現する。  
③県が管理する浜名港の整備・維持管理に対し負担金を拠出する。

### ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	25,600	68,310
決算	8,165	
人件費(A)	3,500	3,860
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	11,665	72,170

### ◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
港湾施設(導流堤)の改良率	%	100.0	目標	10.0	15
			実績	10	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

### ◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

・市民が安全・安心に生活できるように河川等が適正かつ持続的に保全され、豪雨等の災害が少ない都市を実現する。  
③県が管理する浜名港の整備・維持管理に対し負担金を拠出する。

### ◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>  計画通り

・市民が安全・安心に生活できるように河川等が適正かつ持続的に保全され、豪雨等の災害が少ない都市を実現する。  
③県が管理する浜名港の整備・維持管理に対し負担金を拠出する。  
(県事業内容 導流堤改良により、浜名湖今切口河口形状の安定化、安全な船舶航行、浜名湖内災害防止を図る。平成27年度 導流堤詳細設計)

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	港湾整備事業	○	○			72,170	68,310	0.5	0.1			
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						72,170	68,310	0.5	0.1			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

平成28年度

(管理番号)  
03 04 02 04 02331000 01

(担当課)  
河川課

(責任者)  
松島 康浩

(作成日)  
平成 28 年 7 月 1 日

# 事業シート (事業名) 港湾整備事業

## ◇事業目的・事業対象

③県が管理する浜名港の整備・維持管理に対し負担金を拠出することにより、船舶安全航行に寄与する。

## ◇事業の概要

### ◆県営事業

・浜名港の維持管理にかかる県事業に対する負担金。

(県事業内容 導流堤改良により、浜名湖今切口河口形状の安定化、安全な船舶航行、浜名湖内災害防止を図る。)

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
			自治事務	港湾法	○	—	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	25,600	68,310
	決算	8,165	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	8,165	68,310
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		3,500	3,860
人工	正規	0.5	0.5
	再任用(h31)		0.1
	再任用(h26)		
	非常勤		

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
港湾施設(導流堤)の改良率				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	10	15		60	100.0
実績値	10				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合(%)				Ⅲ-1(1)イ	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	77.0	78		80	
実績値	77.5				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

◆県営事業  
 ・浜名港の維持管理にかかる県事業に対する負担金。  
 (県事業内容 導流堤改良により、浜名湖今切口河口形状の安定化、安全な船舶航行、浜名湖内災害防止を図る。平成27年度 導流堤詳細設計)

・事業の成果と課題

指標の達成度

◆県営事業  
 ・浜名港の維持管理にかかる県事業に対する負担金。  
 (県事業内容 導流堤改良により、浜名湖今切口河口形状の安定化、安全な船舶航行、浜名湖内災害防止を図る平成27年度 導流堤詳細設計)

・事業の改善と見直し

実施結果  
 大項目  小項目  /  事業費  人工

◆県営事業  
 ・浜名港の維持管理にかかる県事業に対する負担金拠出。

今後の方向性  
 大項目  小項目  /  事業費  人工

◆県営事業  
 ・浜名港の維持管理にかかる県事業に対する負担金拠出。  
 ・浜名湖管理に関して、県および浜名湖環境財団との調整を図る。

・事業の分類

大分類  細分類



# 政策シート

(政策名) 快適な道路・河川づくり  
(予算費目名) 都市下水路事業費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
  - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・市民が安全・安心に生活できるように河川等が適正かつ持続的に保全され、豪雨等の災害が少ない都市を実現する。  
④都市下水路の整備

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	135,364	166,377
決算	165,288	
人件費(A)	2,100	2,100
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	167,388	168,477

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
都市下水路の整備率	%	100.0	目標	65.0	80
			実績	66.3	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

・市民が安全・安心に生活できるように河川等が適正かつ持続的に保全され、豪雨等の災害が少ない都市を実現する。  
④都市下水路の整備

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

集中豪雨等による市街地の浸水被害の解消、軽減を図り、安全で安心なまちづくりを推進するため、都市下水路事業として、西美蘭都市下水路の整備を推進した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	都市下水路整備事業	○	○			168,477	166,377	0.3				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						168,477	166,377	0.3				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 都市下水路整備事業

## ◇事業目的・事業対象

④都市下水路の整備により、集中豪雨等による市街地の浸水被害の解消、軽減を図る。

## ◇事業の概要

- ◆単独事業
- ・西美蘭都市下水路整備。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S38		一般会計	自治事務	下水道法	○	—	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	135,364	166,377
	決算	165,288	
	国・県支出		
	市債	126,200	155,800
	その他		8,000
	一般財源	39,088	2,577
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		2,100	2,100
人工	正規	0.3	0.3
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
都市下水路の整備率				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	65.0	80		100	100.0
実績値	66.3				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合(%)				Ⅲ-1(1)イ	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	77.0	78		80	
実績値	77.5				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)  
03 04 02 05 02331000

(担当課)  
河川課

(責任者)  
松島 康浩

(作成日)  
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ◆単独事業 [決算 165,288千円(うち前年度繰越 30,369千円)]
- ・西美園都市下水路整備。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ◆単独事業
- ・西美園都市下水路整備工事実施。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ◆単独事業
- ・西美園都市下水路整備工事実施。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ◆単独事業
- ・西美園都市下水路整備工事実施。

・事業の分類

大分類

細分類